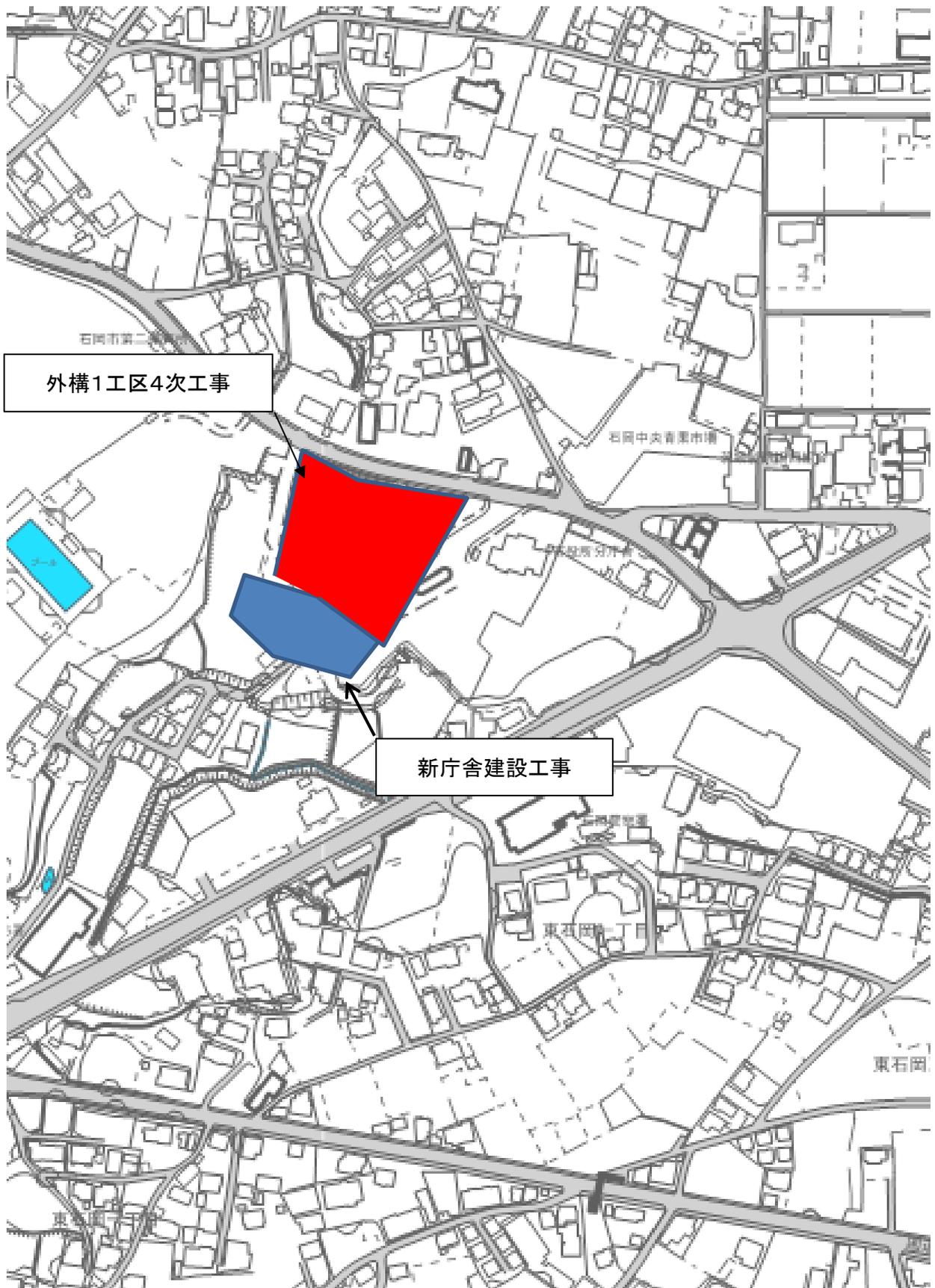


工事起工 概要書

		部 長	理 事	次 長	課 長	課長補佐	係 員	係 員	審 査	設 計 者
執行年度		平成 30 年度								
工事番号 工事名		H30石岡市新庁舎 外構1工区4次工事				第30-01-101-H-003号 起工 設計書				
工事場所 又は履行場所		石岡市		石岡一丁目地内						
施工方法						原契約年月日		年 月 日		
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 31年 3月18日 まで 日間								
受注者										
費 目		起 工		第1回変更		増 減 (△)				
起 工 額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価 格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決 定 額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
舗装工事										
アスファルト舗装工 (再密アスコン)		A = 3920.0 m ²								
アスファルト舗装工 (半たわみ舗装)		A = 1570.0 m ²								
区画線		N = 1.0式								
変更理由										

H30石岡市新庁舎 外構1工区4次工事

石岡市石岡一丁目地内



特記仕様書

(総則)

- 第1条 本特記仕様書は、石岡市新庁舎 外構1工区4次工事に適用する。
- 2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。
- 3 前項により難しい工種については、公共建築工事標準仕様書(以下、「建築共通仕様書」という。)及び、各工種毎の特記仕様書に基づき、施工するものとする。

(工期)

- 第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含まれている。

(工事数量)

- 第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

- 第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
基礎工	再生砕石	RB-40
舗装工	再生アスファルト	再生密粒アスコン

(建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以

上のものを使用すること。

- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員(特に必要な場合、交通誘導警備業務に係る一級または二級検定合格警備員を含む)及び保安要員を配

置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、別添図面の配置により難しい場合には、監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は、設計地山土量1㎡当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。
- (7) その他搬出先が指定されている場合は、監督員と協議を行い、搬出先の確認を行った後、周辺に影響の無いよう搬入を行うこと。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて抗等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

(その他)

第15条

- ① 本工事は同敷地内で施行中の他の建築工事・外構工事の作業ヤード及び、一部施工範囲が重複して施行される工事であることから、当該受注者及び監督職員と連絡を密にし、適切な工事施工を図ること。
- ② 本工事の建築物の施工に関しては、市が委託する工事監理業者と連絡を密にし、施工に努める事、また、工事に絡み、施工図・竣工図等の資料の提出等を求められた場合、必要に応じ作成等を行う必要があるので留意する事。

工事数量総括（内訳）表

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
舗装（駐車場）				式		
			1			
舗装工				式		
			1			
アスファルト舗装工				式		表層（車道・路肩部） 3,920.000 m2
			1			
半たわみ性舗装工				式		基層（車道・路肩部） 1,570.000 m2 表層（車道・路肩部） 1,570.000 m2
			1			
コンクリート舗装工				式		コンクリート舗装 247.000 m2
			1			
舗装準備工				式		不陸整正 5,500.000 m2
			1			
縁石工				式		地先境界ブロック 226.000 m
			1			
区画線工				式		
			1			
区画線工				式		熔融式区画線 1,700.000 m
			1			
仮設工				式		
			1			
交通管理工				式		交通誘導警備員 90.000 人日
			1			
直接工事費計				式		
			1			
共通仮設費（率計上）				式		
			1			
共通仮設費計				式		
			1			
純工事費				式		
			1			
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			

工事数量総括（内訳）表

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
契約保証費用				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

本工事費内訳書

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装 (駐車場)									
舗装工									
アスファルト舗装工									
表層 (車道・路肩部)					3,920.000	m2			
表層 (車道・路肩部) 平均幅員 (1.4m以上), 1層当平均仕上厚 70mm以下 (50 mm), 材料 (再生密粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類 (プライムコート PK-3), 費用の内訳 (全ての費用)					3,920.000	m2			施工P 第0001号代価表
半たわみ性舗装工									
基層 (車道・路肩部)					1,570.000	m2			
基層 (車道・路肩部) 平均幅員 (1.4m以上), 1層当平均仕上厚 70mm以下 (50 mm), 材料 (再生密粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類 (プライムコート PK-3), 費用の内訳 (全ての費用)					1,570.000	m2			施工P 第0002号代価表
表層 (車道・路肩部)					1,570.000	m2			
半たわみ性舗装工 疎粒As4cm・ショットプラスト・指定カッター目地 (大林道路: 涼畳同等品)					1,570.000	m2			
コンクリート舗装工									
コンクリート舗装					247.000	m2			
瓦骨材入り保水性コンクリート舗装 t=100・佐藤渡辺サーモスカラー同等品					247.000	m2			
舗装準備工									
不陸整正					5,500.000	m2			

本工事費内訳書

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
不陸整正 補足材料の有無(無し),費用の内訳(全ての費用)	5,500.000	m2			施工P 第0003号代価表
縁石工					
地先境界ブロック	226.000	m			
PC縁石設置工(120*120)	226.000	m			第0004号代価表
視覚障害者用床タイル(砂t=20・R C-40t=100) 点鋳Φ22*25個・ナカ工業NSH22同等品	24.000	箇所			
視覚障害者用床タイル(砂t=20・R C-40t=100) 線鋳L280*4個・ナカ工業NSH290同等品	102.000	箇所			
車止めブロック設置 (2個/組) 120*90*600・大成コンクリート:車止めブ ロック中同等品	81.000	箇所			
区画線工					
区画線工					
溶融式区画線	1,700.000	m			
区画線設置(W150・破線) 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(溶融 式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様 区分(破線 15cm),時間的制約の有無(無し) ,塗布厚(1.0mm),排水性舗装に施工する場 合の補正(無し),未供用区間の場合の補正(無し),溶融式塗料規格(含有量15~18%),塗 料区分(白),プライマー規格(アスファルト 舗装),費用の内訳(全ての費用)	63.000	m			

本工事費内訳書

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置(W150・実線) 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.0mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	85.000	m			
区画線設置(W200・停止線) 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 20cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.0mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	52.000	m			
区画線設置(W450・横断歩道) 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 45cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.0mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	130.000	m			
区画線設置(W150・ゼブラ) 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(ゼブラ 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.0mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	40.000	m			
区画線設置 (一般区画) W100・熔融式	1,330.000	m			
区画線設置 (身障者ゾーン・ゼブラ) W1000*5000・熔融式	18.000	箇所			
区画線設置 (身障者マーク) W1500*D1500・熔融式	5.000	箇所			
仮設工					

本 工 事 費 内 訳 書

第 30-01-101-H-003 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通管理工					
交通誘導警備員	90.000	人日			
交通誘導警備員B	90.000	人日			
直接工事費計					
共通仮設費（率計上）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.50%, 労8.65%, 材87.85%, 市0.00%)

第 30-01-101-H-003号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.880	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.530	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.530	%			K3
普通作業員	3.130	%			R1
特殊作業員	1.790	%			R2
運転手 (特殊)	1.740	%			R3
世話役	0.610	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.650	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.800	%			Z2
軽油 1.2号	0.340	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0002 号 代価表 基層(車道・路肩部)

施工P(機3.86%, 労9.58%, 材86.56%, 市0.00%)

第 30-01-101-H-003号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	2.080	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.580	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.580	%			K3
普通作業員	3.470	%			R1
特殊作業員	1.980	%			R2
運転手 (特殊)	1.930	%			R3
世話役	0.670	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	78.590	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.530	%			Z2
軽油 1.2号	0.370	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0003 号 代価表 不陸整正

施工P(機32.36%, 労61.06%, 材6.58%, 市0.00%)

第 30-01-101-H-003号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1m	12.900	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	10.070	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20t	9.390	%			K3
運転手 (特殊)	36.860	%			R1
普通作業員	24.200	%			R2
軽油 1.2号	6.580	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	1	無し
J04 費用の内訳	1	全ての費用

